

国際スキー技術検定規程

1. 目 的

この規程は、公益社団法人日本プロスキー教師協会（以下「協会」という）定款第1章第4条(1)項に基づきこれを定める。国際スキー技術検定は、国際スキー教師連盟（以下「I S I A」という）の技術検定である。

2. 検定要綱

スーパーゴールドメダル

スーパーセミゴールドメダル

ゴールドメダル

セミゴールドメダル

シルバーマダル

セミシルバーマダル

ブロンズメダル

セミブロンズメダル の8種類とする。

(1) 実 施

公認スキー学校が、会長より委嘱され、これを行う。ただし、スーパーゴールドメダル及びスーパーセミゴールドメダル検定は協会または協会管理の下に実施する。

(2) 検 定 員

会長から委嘱された国際スキー技術検定検定員の資格を持つアルペンスキー・ステージⅡ、ⅢまたはⅣの有資格者。ステージⅢはシルバーマダルまで、ステージⅡはブロンズメダルまでの検定が出来ることとする。ただしスーパーゴールドメダル及びスーパーセミゴールドメダルの検定員はイグザミネーターとする。

(3) 検定申込

受検者は、氏名、年齢、性別、住所、既得メダル及び希望メダル種類等を所定の申込み用紙に記入の上、開催学校長宛に申し込む。ただし、スーパーゴールドメダル及びスーパーセミゴールドメダル検定は協会宛に申し込む。

(4) 検 定 料

スーパーゴールド・スーパーセミゴールドは5,000円(消費税込)、その他は一律2,000円(消費税込)とし、検定申込時に納入する。

(5) 合格者の手続

下記の認定料を納付しなければ有効とならない。

スーパーゴールドメダル	5,000 円 (消費税込)
スーパーセミゴールドメダル	5,000 円 (消費税込)
ゴールドメダル	2,500 円 (消費税込)
セミゴールドメダル	〃
シルバーマダル	2,000 円 (消費税込)
セミシルバーマダル	〃 (消費税込)
ブロンズメダル	1,500 円 (消費税込)
セミブロンズメダル	〃

(6) 結果の報告

検定を実施した協会、支部及び学校は、その結果を所定の報告書に記入の上、5月末日までに担当部に報告する。また、担当部長は報告を集計し、所定の報告書に記入の上、6月末日までに会長に報告する。

3. 検定基準

(1) 検定種類と種目

種 類		スパー ゴールド	スパー セミゴールド	ゴールド	セミ ゴールド	シルバー	セミ シルバー	ブロンズ	セミ ブロンズ	備 考
ブルークボーゲン									○	*ブロンズはいずれかの種目を選ぶ
シュテムターン						○	○	○	選択	
基礎パラレルターン								○		
パラレルターン・ロング		○	○	○	○	○	○			
パラレルターン・ショート		○	○	○	○	○				
基礎パラレルターン・ショート							○			
ウェーデルン		○	○							
総合滑降 〔パラレルターン・ロング パラレルターン・ショートを 含めリズム変化を2度以上行う〕		○	○	○	○					
合格点 (100点満点として) (スパーゴールド・スパーセミゴールドは 200点満点として)		160点 以上	140点 以上	70点 以上	60点 以上	70点 以上	60点 以上	70点 以上	60点 以上	*スパーゴールド、 スパーセミゴールド は2名の合計点 とする
検定員	資格	イグザミネーター		ステージIV	ステージIII・IV		ステージII・III・IV			
	人数	2名		1名以上						
滑降回数		各1回						2回		
斜面の条件	幅	30m以上								*スパーゴールド、 スパーセミゴールド、 ゴールド、セミゴールド は新雪もしくは 悪雪(コブを含む) で行う
	長さ	150～200m				100m				
	斜度	25～30度の 急斜面		20～30度の 急斜面		10～20度の 中斜面		4～10度の 緩斜面		
	雪の状況	新雪、悪雪もしくはコブ				ナチュラルバーン		整地		

(2) 採点方法

- イ. スーパーゴールドメダルの検定は4種目をそれぞれ200点満点とし、160点以上を合格点(2名の合計点)とし、滑降は1回とする。
- ロ. スーパーセミゴールドメダルの検定は4種目をそれぞれ200点満点とし、140点以上を合格点(2名の合計点)とし、滑降は1回とする。
- ハ. ゴールドメダルの検定は、3種目をそれぞれ100点満点とし、70点以上を合格点とし、滑降は1回とする。
- ニ. セミゴールドメダルの検定は、3種目をそれぞれ100点満点とし、60点以上を合格点とし、滑降は1回とする。

- ホ. シルバーメダルの検定は、3種目をそれぞれ100点満点とし、70点以上を合格点とし、滑降は1回とする。
- ヘ. セミシルバーメダルの検定は、3種目をそれぞれ100点満点とし、60点以上を合格点とし、滑降は1回とする。
- ト. ブロンズメダルの検定は、受検者がシュテムターンもしくは基礎パラレルターンのいずれかを選び、2回滑ることができ、2回のうち1回が70点以上であれば合格とする。
- チ. セミブロンズメダルの検定は、2回滑ることができ、2回のうち1回が60点以上であれば合格とする。

(3) 実施

- イ. 検定は、申込み種類に対してのみ行う。
- ロ. 各メダル検定実施に際しては、1名以上の正会員の前走者を用意し、各種目ごとに前走を行うものとする。スーパーゴールドメダルはステージⅣの有資格者が行う。

4. 実施要綱

(1) スーパーゴールド・スーパーセミゴールドメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、長さ150～200m、斜度25～30度の急斜面
雪の状況 新雪、悪雪もしくはコブを含む斜面。

ロ. 検定種目

パラレルターン・ロング、パラレルターン・ショート、ウェーデルン、
総合滑降（パラレルターン・ロング、パラレルターン・ショートを含めリズム変化を2度以上行う）を種目毎に1回ずつ滑ることを原則とする。

(2) ゴールドメダル・セミゴールドメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、長さ150～200m、斜度20～30度の急斜面
雪の状況 新雪、悪雪もしくはコブを含む斜面。

ロ. 検定種目

パラレルターン・ロング、パラレルターン・ショート、
総合滑降（パラレルターン・ロング、パラレルターン・ショートを含めリズム変化を2度以上行う）を種目毎に1回ずつ滑ることを原則とする。

(3) シルバーメダル・セミシルバーメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、長さ100m、斜度10～20度の中斜面
雪の状況 ナチュラルバーン

ロ. 検定種目

シルバーメダルは、シュテムターン、パラレルターン・ロング、パラレルターン・ショート
を種目毎に1回ずつ滑ることを原則とする。
セミシルバーメダルは、シュテムターン、パラレルターン・ロング、基礎パラレルターン
・ショート
を種目毎に1回ずつ滑ることを原則とする。

(4) ブロンズメダル・セミブロンズメダル検定

イ. 斜面の条件

幅30m以上、
長さ100 m、斜度 4～10度の緩斜面
雪の状況 整地

ロ. 検定種目

ブロンズメダルは、シュテムターンもしくは基礎パラレルターンのいずれかを選んで
2回滑ることができる。

セミブロンズメダルは、プルークボーゲンで1回または2回滑る。

5. 採点基準

(1) スーパーゴールド・スーパーセミゴールドメダル検定

○パラレルターン・ロング

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. リズミカルなスキー操作ができています。
- ニ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。
- ホ. 積極的なスキー操作を行っている。
- ヘ. 斜面の変化に応じたスキー操作及びスピードのコントロールができています。

○パラレルターン・ショート

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. 斜面の変化に応じたスキー操作及びスピードのコントロールができています。
- ニ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。
- ホ. リズミカルなスキー操作ができています。
- ヘ. 積極的なスキー操作を行っている。

○ウェーデルン

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. 斜面の変化に応じたスキー操作及びスピードのコントロールができています。
- ニ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。
- ホ. リズミカルなスキー操作ができています。
- ヘ. 積極的なスキー操作を行っている。

○総合滑降

- イ. パラレルターン・ロング、パラレルターン・ショートを含めリズム変化を2度以上行う。
- ロ. 斜面にあったターン種目の使い分けができています。
- ハ. 斜面の変化に応じたスキー操作及びスピードのコントロールができています。
- ニ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。
- ホ. 積極的なスキー操作を行っている。

(2) ゴールドメダル・セミゴールドメダル検定

○パラレルターン・ロング

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. リズミカルなスキー操作ができています。
- ニ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。

○パラレルターン・ショート

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. 斜面の変化に応じたスキー操作及びスピードのコントロールができています。
- ニ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。
- ホ. リズミカルなスキー操作ができています。
- ヘ. 積極的なスキー操作を行っている。

○総合滑降

- イ. パラレルターン・ロング、パラレルターン・ショートを含めリズム変化を2度以上行う。
- ロ. 斜面にあったターン種目の使い分けができています。
- ハ. 斜面の変化に応じたスキー操作及びスピードのコントロールができています。
- ニ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。
- ホ. 積極的なスキー操作を行っている。

(3) シルバーメダル・セミシルバーメダル検定

○シュテムターン（山開きもしくは両開きシュテムターン・開脚で行う）

- イ. 開きだし動作が明確である。
- ロ. 開きだし引き寄せの動作が無駄なくスムーズに行われている。
- ハ. 引き寄せ後の山回りターンが安定している。
- ニ. ターン弧が滑降状況にあっている。
- ホ. スピードのコントロールができています。

○パラレルターン・ロング

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. リズミカルなスキー操作ができています。
- ニ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。

○基礎パラレルターン・ショート

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. スピードのコントロールができています。

○パラレルターン・ショート

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。
- ニ. スピードのコントロールができています。
- ホ. リズミカルなスキー操作ができています。

(4) ブロンズメダル・セミブロンズメダル検定

○プルークボーゲン

- イ. 適度なプルークを保っている。
- ロ. 弧の大きさが条件にあっている。
- ハ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。

○シュテムターン

- イ. 開きだし動作が明確である。
- ロ. 引き寄せ後の山回りターンが安定している。
- ハ. ターン弧が条件にあっている。
- ニ. スピードのコントロールができています。

○基礎パラレルターン

- イ. パラレルで操作ができています。
- ロ. 左右ターン弧のバランス及び弧の大きさが滑降状況にあっている。
- ハ. リズミカルなスキー操作ができています。
- ニ. 安定したポジションでスキー操作を行っている。

附則 この規程は、公益社団法人日本職業スキー教師協会の設立登記のあった日から施行する。

附則 この規程は、一部改訂し平成24年10月17日から施行する。

附則 この規程は、一部改訂し平成28年 3月24日から施行する。

附則 この規程は、一部改訂し平成29年10月 1日から施行する。

附則 この規程は、一部改訂し平成30年12月 1日から施行する。

附則 この規程は、一部改訂し令和元年10月17日から施行する。